



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 椿本チエイン
 コード番号 6371 URL <http://www.tsubakimoto.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長 勇
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 和田 幸子
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 06-6441-0054
 平成26年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 92,948 | 10.0 | 9,922 | 35.0 | 10,416 | 38.7 | 6,578 | 50.5 |
| 26年3月期第2四半期 | 84,532 | 16.2 | 7,347 | 14.5 | 7,511 | 15.1 | 4,370 | 14.7 |

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 7,836百万円 (△23.2%) 26年3月期第2四半期 10,198百万円 (395.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | 35.16 | — |
| 26年3月期第2四半期 | 23.35 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 236,493 | 127,639 | 52.6 |
| 26年3月期 | 228,840 | 121,628 | 51.8 |

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 124,428百万円 26年3月期 118,433百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 4.00 | — | 6.00 | 10.00 |
| 27年3月期 | — | 7.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 7.00 | 14.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 191,000 | 7.3 | 19,700 | 13.5 | 20,300 | 12.8 | 13,000 | 27.3 | 69.48 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 27年3月期2Q | 191,406,969 株 | 26年3月期 | 191,406,969 株 |
| 27年3月期2Q | 4,303,515 株 | 26年3月期 | 4,292,184 株 |
| 27年3月期2Q | 187,109,179 株 | 26年3月期2Q | 187,136,894 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

(参考) 個別業績の概要

平成27年3月期第2四半期の個別業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 40,980 | 9.6 | 3,701 | 61.8 | 7,429 | 67.7 | 5,803 | 72.7 |
| 26年3月期第2四半期 | 37,391 | △4.6 | 2,287 | △12.0 | 4,431 | 5.5 | 3,361 | 10.2 |

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | P. 5 |
| 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | P. 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 10 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 12 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 12 |
| (セグメント情報等) | P. 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）における当社グループの事業環境は、わが国においては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による個人消費の落ち込みはあったものの、政府経済政策の効果などにより設備投資が増加傾向となるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。海外においては、中国の経済成長にやや鈍化がみられるものの、アセアン諸国を中心としたアジア経済が堅調に推移したことや米国経済の拡大基調が持続したこと、また欧州経済も概ね緩やかな回復基調となるなど、総じて堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは「中期経営計画2016」の重点課題である、市場ニーズに徹底対応した商品開発、モノづくりやグループ総合力を生かしたビジネスの拡大に取り組むとともに、収益力の強化に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は978億58百万円（前年同期比14.5%増）、売上高は929億48百万円（同10.0%増）となりました。

損益につきましては、営業利益は99億22百万円（同35.0%増）、経常利益は104億16百万円（同38.7%増）、四半期純利益は65億78百万円（同50.5%増）となりました。

なお、セグメント別の概況は、次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、日本国内において動力伝動用チェーンや搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調であったことに加え、米国や欧州、アジアにおける搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置などの販売が好調に推移したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は296億24百万円（前年同期比11.3%増）、売上高は289億72百万円（同10.2%増）、営業利益は23億54百万円（同58.4%増）となりました。

[精機]

精機につきましては、中国における減速機の販売が減少しましたが、日本国内において減速機や軸継手、締結具、クラッチの販売が好調であったことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、精機の受注高は112億80百万円（前年同期比2.2%増）、売上高は109億98百万円（同7.7%増）、営業利益は11億19百万円（同20.0%増）となりました。

[自動車部品]

自動車部品につきましては、日本、米国、欧州、タイ、中国、韓国の各拠点において自動車エンジン用タイミングドライブシステムの販売が好調であったことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は320億59百万円（前年同期比8.4%増）、売上高は324億90百万円（同10.2%増）、営業利益は61億68百万円（同27.9%増）となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、日本国内における物流業界向けシステムや鉄鋼業界向けシステムなどの売上が増加したことに加え、欧州において工作機械向け金属屑搬送・クーラント処理装置の売上が増加したことなどから、前年同期比で増収となりました。

以上により、マテハンの受注高は238億59百万円（前年同期比38.1%増）、売上高は194億65百万円（同11.0%増）、営業利益は2億9百万円（同130.1%増）となりました。

[その他]

その他の受注高は10億34百万円（前年同期比6.5%増）、売上高は10億22百万円（同1.5%増）、営業利益は47百万円（同67.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して76億53百万円増加し、2,364億93百万円となりました。

流動資産は、設備投資や配当金の支払などにより現金及び預金が9億90百万円減少しましたが、仕掛品の増加などによりたな卸資産が26億97百万円増加、譲渡性預金の増加などにより有価証券が5億54百万円増加、売上高の増加により受取手形及び売掛金が4億6百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して31億26百万円増加し、1,037億52百万円となりました。

固定資産は、のれんの償却などにより無形固定資産が5億96百万円減少した一方、保有株式の時価上昇などにより投資その他の資産が52億43百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して45億27百万円増加し、1,327億41百万円となりました。

(負債)

負債は、退職給付に係る負債が11億59百万円増加、繰延税金負債等の増加によりその他の固定負債が4億88百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して16億42百万円増加し、1,088億54百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が48億45百万円増加したこと、保有株式の時価上昇などによりその他有価証券評価差額金が14億24百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して60億11百万円増加の1,276億39百万円となり、自己資本比率は52.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して16億84百万円減少し、196億7百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は86億9百万円（前年同期は81億8百万円の増加）となりました。これは、法人税等の支払額が42億66百万円、たな卸資産の増加による支出が24億54百万円あった一方で、税金等調整前四半期純利益を104億76百万円計上したこと、減価償却費を45億81百万円計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は87億60百万円（前年同期は67億7百万円の減少）となりました。これは、自動車部品生産設備等への設備投資代金の決済に44億81百万円支出したこと、関係会社出資金の払込による支出が15億30百万円あったこと、関係会社株式の取得による支出が12億84百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は13億99百万円（前年同期は6億40百万円の減少）となりました。これは、社債の発行による収入が99億43百万円、短期借入金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出が109億30百万円、配当金の支払による支出が11億22百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績並びに現時点における下半期の見通しを勘案した結果、平成26年5月9日に公表しました平成27年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

通期連結業績予想数値の前提となる下期の為替レートは、1米ドル=105円、1ユーロ=135円としております。

平成27年3月期通期の連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 前回発表予想(A) (平成26年5月9日発表) | 百万円 186,000 | 百万円 18,600 | 百万円 18,600 | 百万円 11,700 | 円 銭 62.53 |
| 今回修正予想(B) | 191,000 | 19,700 | 20,300 | 13,000 | 69.48 |
| 増減額(B-A) | 5,000 | 1,100 | 1,700 | 1,300 | — |
| 増減率(%) | 2.7 | 5.9 | 9.1 | 11.1 | — |

(ご参考) 平成27年3月期通期の個別業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|---------------|--------------|---------------|--------------|----------------|
| 前回発表予想(A) (平成26年5月9日発表) | 百万円 80,200 | 百万円 6,400 | 百万円 10,500 | 百万円 7,600 | 円 銭 40.62 |
| 今回修正予想(B) | 83,000 | 7,600 | 12,200 | 9,000 | 48.10 |
| 増減額(B-A) | 2,800 | 1,200 | 1,700 | 1,400 | — |
| 増減率(%) | 3.5 | 18.8 | 16.2 | 18.4 | — |

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が12億2百万円増加し、利益剰余金が7億74百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,518 | 12,528 |
| 受取手形及び売掛金 | 44,337 | 44,743 |
| 有価証券 | 7,877 | 8,432 |
| 商品及び製品 | 13,028 | 14,130 |
| 仕掛品 | 9,150 | 11,062 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,446 | 7,130 |
| その他 | 5,707 | 6,166 |
| 貸倒引当金 | △440 | △441 |
| 流動資産合計 | 100,626 | 103,752 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 26,465 | 26,098 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 25,996 | 26,361 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 2,487 | 2,636 |
| 土地 | 37,472 | 37,523 |
| 建設仮勘定 | 4,430 | 4,112 |
| 有形固定資産合計 | 96,852 | 96,732 |
| 無形固定資産 | 5,807 | 5,210 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 19,207 | 23,092 |
| その他 | 6,479 | 7,846 |
| 貸倒引当金 | △132 | △140 |
| 投資その他の資産合計 | 25,554 | 30,798 |
| 固定資産合計 | 128,213 | 132,741 |
| 資産合計 | 228,840 | 236,493 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 25,269 | 24,263 |
| 短期借入金 | 8,422 | 9,166 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 10,425 | 2,007 |
| 未払法人税等 | 2,944 | 2,670 |
| 賞与引当金 | 3,591 | 3,388 |
| 工事損失引当金 | 28 | 20 |
| その他 | 11,322 | 13,018 |
| 流動負債合計 | 62,003 | 54,536 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | - | 10,000 |
| 長期借入金 | 17,690 | 15,168 |
| 役員退職慰労引当金 | 213 | 196 |
| 退職給付に係る負債 | 10,910 | 12,070 |
| 資産除去債務 | 239 | 240 |
| その他 | 16,153 | 16,642 |
| 固定負債合計 | 45,208 | 54,318 |
| 負債合計 | 107,212 | 108,854 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 17,076 | 17,076 |
| 資本剰余金 | 12,658 | 12,658 |
| 利益剰余金 | 92,072 | 96,917 |
| 自己株式 | △2,037 | △2,047 |
| 株主資本合計 | 119,769 | 124,605 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,427 | 7,851 |
| 繰延ヘッジ損益 | 15 | △83 |
| 土地再評価差額金 | △11,348 | △11,431 |
| 為替換算調整勘定 | 4,182 | 4,021 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △613 | △534 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,336 | △176 |
| 少数株主持分 | 3,194 | 3,210 |
| 純資産合計 | 121,628 | 127,639 |
| 負債純資産合計 | 228,840 | 236,493 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 84,532 | 92,948 |
| 売上原価 | 60,142 | 64,607 |
| 売上総利益 | 24,390 | 28,341 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,042 | 18,419 |
| 営業利益 | 7,347 | 9,922 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 41 | 71 |
| 受取配当金 | 250 | 319 |
| 受取保険料 | 148 | 173 |
| その他 | 269 | 305 |
| 営業外収益合計 | 709 | 871 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 232 | 192 |
| その他 | 313 | 183 |
| 営業外費用合計 | 545 | 376 |
| 経常利益 | 7,511 | 10,416 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | - | 93 |
| 固定資産売却益 | - | 10 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | - |
| 特別利益合計 | 0 | 103 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 44 |
| 特別損失合計 | - | 44 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,512 | 10,476 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,496 | 3,852 |
| 法人税等調整額 | 388 | △86 |
| 法人税等合計 | 2,885 | 3,766 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,627 | 6,709 |
| 少数株主利益 | 257 | 131 |
| 四半期純利益 | 4,370 | 6,578 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,627 | 6,709 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,896 | 1,427 |
| 繰延ヘッジ損益 | 79 | △99 |
| 為替換算調整勘定 | 3,534 | △260 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 78 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 60 | △20 |
| その他の包括利益合計 | 5,571 | 1,126 |
| 四半期包括利益 | 10,198 | 7,836 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 9,614 | 7,821 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 584 | 14 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,512 | 10,476 |
| 減価償却費 | 4,213 | 4,581 |
| のれん償却額 | 167 | 238 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 116 | 23 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | - | 44 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △0 | - |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △77 | 7 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 118 | - |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | - | 71 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 3,579 | △43 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 741 | △2,454 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △5,198 | △1,423 |
| その他 | △145 | 1,081 |
| 小計 | 11,027 | 12,602 |
| 利息及び配当金の受取額 | 299 | 384 |
| 利息の支払額 | △249 | △205 |
| 保険金の受取額 | - | 93 |
| 法人税等の支払額 | △2,969 | △4,266 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,108 | 8,609 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △2 | △1,364 |
| 定期預金の払戻による収入 | 40 | 100 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △217 | △406 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 218 | - |
| 関係会社株式の取得による支出 | - | △1,284 |
| 関係会社出資金の払込による支出 | - | △1,530 |
| 短期貸付金の純増減額 (△は増加) | △31 | △24 |
| 長期貸付けによる支出 | △12 | △10 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 15 | 14 |
| 固定資産の取得による支出 | △6,748 | △4,481 |
| 固定資産の売却による収入 | 29 | 227 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,707 | △8,760 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 97 | 829 |
| 長期借入れによる収入 | 3,694 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | △3,416 | △10,930 |
| 社債の発行による収入 | - | 9,943 |
| リース債務の返済による支出 | △77 | △106 |
| 割賦債務の返済による支出 | △4 | △4 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | - | 121 |
| 配当金の支払額 | △748 | △1,122 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △178 | △119 |
| 自己株式の取得による支出 | △7 | △9 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △640 | △1,399 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 758 | △226 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,518 | △1,776 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 20,194 | 21,291 |
| 新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高 | 320 | 92 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 22,033 | 19,607 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 連結損益 計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|--------|-----------|--------|--------|-------------|--------|-------------|---------------------------|
| | チェーン | 精機 | 自動車 部品 | マテハン | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 26,288 | 10,210 | 29,492 | 17,534 | 83,525 | 1,007 | 84,532 | — | 84,532 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 588 | 130 | — | 17 | 736 | 388 | 1,124 | △1,124 | — |
| 計 | 26,876 | 10,340 | 29,492 | 17,551 | 84,261 | 1,396 | 85,657 | △1,124 | 84,532 |
| セグメント利益 (営業利益) | 1,486 | 932 | 4,823 | 91 | 7,334 | 28 | 7,362 | △14 | 7,347 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△14百万円には、セグメント間取引消去150百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△165百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 連結損益 計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|--------|-----------|--------|--------|-------------|--------|-------------|---------------------------|
| | チェーン | 精機 | 自動車 部品 | マテハン | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 28,972 | 10,998 | 32,490 | 19,465 | 91,926 | 1,022 | 92,948 | — | 92,948 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 722 | 202 | — | 18 | 943 | 405 | 1,349 | △1,349 | — |
| 計 | 29,694 | 11,200 | 32,490 | 19,484 | 92,870 | 1,427 | 94,298 | △1,349 | 92,948 |
| セグメント利益 (営業利益) | 2,354 | 1,119 | 6,168 | 209 | 9,852 | 47 | 9,900 | 22 | 9,922 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額22百万円には、セグメント間取引消去115百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。